



## 平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月12日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東  
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	12	69.7	△240	—	△232	—	△233	—
28年12月期第1四半期	7	△59.6	△228	—	△228	—	△228	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 △234百万円 (—%) 28年12月期第1四半期 △246百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△25.07	—
28年12月期第1四半期	△25.69	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	1,387	1,214	86.2	122.56
28年12月期	1,343	1,164	85.4	124.56

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 1,196百万円 28年12月期 1,147百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30	106.8	△650	—	△630	—	△630	—	△70.54
通期	100	99.3	△1,250	—	△1,230	—	△1,230	—	△135.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期1Q	9,764,419株	28年12月期	9,214,419株
② 期末自己株式数	29年12月期1Q	127株	28年12月期	127株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期1Q	9,302,069株	28年12月期1Q	8,903,083株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が継続しました。先行きについては、米国新政権の保護主義的な政策、並びに、中国やアジア新興国等の景気減速懸念など、経済全般に不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、平成29年3月に仙台にて第16回日本再生医療学会総会が開催され、基礎研究者、臨床医、経済・産業界、行政が一堂に会し関係者相互間の情報交換などが行われました。

以上のような環境の下、当社グループは再生医療支援事業及び細胞シート再生医療事業における活動を推進いたしました。

上述のような活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は12,904千円(前年同四半期比5,301千円の増加)、営業損失は240,639千円(前年同四半期比11,878千円の増加)、経常損失は232,928千円(前年同四半期比4,683千円の増加)、四半期純損失は233,165千円(前年同四半期比4,419千円の増加)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## ① 再生医療支援事業

再生医療支援事業では、温度応答性細胞培養器材に関する研究開発活動に取り組みました。また再生医療産業化展及び第16回再生医療学会総会への付設展示会に当社ブースを出展するなど、当社器材製品の積極的な販売促進活動にも取り組みました。

以上のような活動の結果、売上高は12,904千円(前年同四半期比5,301千円の増加)、営業損失は37,899千円(前年同四半期比19,928千円の増加)となりました。

## ② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

当社治験実施中の食道再生上皮シート(CLS2702C/D)について、2月に厚生労働省より再生医療等製品の「先駆け審査指定制度」の対象品目指定を受けました。また、3月には当社細胞培養センターが再生医療等の安全性の確保等に関する法律に基づき、「特定細胞加工物製造許可」を取得いたしました。

また、海外展開におきましては、昨年12月より協議を進めてまいりました台湾企業(MetaTech社)との細胞シート再生医療事業に関する台湾での独占的事業提携契約を締結決議いたしました。

以上のような活動の結果、営業損失は115,401千円(前年同四半期比10,801千円の減少)となりました。(当該事業は現在事業化準備段階にありますので、売上高計上はございません。)

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて44,278千円増加し、1,303,761千円となりました。これは主に、現金及び預金が174,140千円増加したことなどによります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて317千円減少し、83,715千円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて43,960千円増加し、1,387,477千円となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて4,368千円減少し、171,794千円となりました。これは主に、未払金が17,331千円減少し、賞与引当金が14,506千円、前受金が10,852千円それぞれ増加したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,613千円減少し、173,454千円となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて49,573千円増加し、1,214,022千円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ141,950千円増加する一方、親会社株主に帰属する四半期純損失233,165千円を計上したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年2月16日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,056,389	1,230,530
売掛金	59,791	9,711
商品及び製品	28,640	28,342
貯蔵品	4,520	4,520
前払費用	15,006	15,086
その他	95,134	15,569
流動資産合計	1,259,483	1,303,761
固定資産		
有形固定資産	21,704	21,476
投資その他の資産	62,328	62,239
固定資産合計	84,033	83,715
資産合計	1,343,516	1,387,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,522	7,688
未払金	72,945	55,613
未払法人税等	6,169	2,267
賞与引当金	—	14,506
前受金	62,544	73,397
その他	28,980	18,322
流動負債合計	176,163	171,794
固定負債		
その他	2,904	1,659
固定負債合計	2,904	1,659
負債合計	179,067	173,454
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,969,436	3,111,386
資本剰余金	191,233	333,183
利益剰余金	△1,998,503	△2,231,668
自己株式	△201	△201
株主資本合計	1,161,964	1,212,699
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△14,204	△15,949
その他の包括利益累計額合計	△14,204	△15,949
新株予約権	16,688	17,273
純資産合計	1,164,448	1,214,022
負債純資産合計	1,343,516	1,387,477

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	7,603	12,904
売上原価	3,188	6,409
売上総利益	4,414	6,495
販売費及び一般管理費		
研究開発費	110,336	130,613
その他	122,839	116,522
販売費及び一般管理費合計	233,176	247,135
営業損失(△)	△228,761	△240,639
営業外収益		
受取利息	189	6
補助金収入	—	10,184
保険返戻金	1,380	—
その他	285	1,760
営業外収益合計	1,855	11,951
営業外費用		
株式交付費	668	120
為替差損	670	157
支払手数料	—	3,709
その他	—	253
営業外費用合計	1,339	4,240
経常損失(△)	△228,244	△232,928
税金等調整前四半期純損失(△)	△228,244	△232,928
法人税、住民税及び事業税	500	237
法人税等合計	500	237
四半期純損失(△)	△228,745	△233,165
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△228,745	△233,165

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△228,745	△233,165
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△17,826	△1,745
その他の包括利益合計	△17,826	△1,745
四半期包括利益	△246,572	△234,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△246,572	△234,911
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第16回新株予約権の行使に伴う新株の発行により、当第1四半期連結期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ141,950千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が3,111,386千円、資本準備金が333,183千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年1月1日至平成28年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結損 益計算書計上 額（注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,603	—	7,603	—	7,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,603	—	7,603	—	7,603
セグメント損失（△）	△17,970	△126,203	△144,174	△84,587	△228,761

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△84,587千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント（注）1			調整額 （注）2	四半期連結損 益計算書計上 額（注）3
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,904	—	12,904	—	12,904
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,904	—	12,904	—	12,904
セグメント損失（△）	△37,899	△115,401	△153,301	△87,338	△240,639

(注) 1 再生医療支援事業は既に製品を販売して売上高を計上しておりますが、細胞シート再生医療事業は現在、事業化準備段階にありますので、売上高計上には至っておりません。

2 セグメント損失の調整額△87,338千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施等により、前連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は1,056,389千円となり、財務基盤については一定水準を保持して推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておりません。以上のことから、当社グループは当四半期連結会計期間において、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、引き続き以下の施策に取り組んでおります。

#### 当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と器材事業の拡充による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また再生医療製品の関連周辺機器の開発を拡充し、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。